

2015年12月期 第2四半期 決算説明会

2015年8月18日
JUKI株式会社
代表取締役社長 清原 晃

Mind & Technology

JUKI
Mind & Technology

目次

第1部 2015年12月期(2015年度)上期 業績の概要

- | | |
|----------------------|----|
| 1. 業績推移・配当 | 3 |
| 2. 経常利益増減要因 | 4 |
| 3. 主要財務項目推移 | 5 |
| 4. セグメント別業績推移 | 6 |
| 5. 株式併合と単元株式数の変更について | 10 |

第2部 中期経営計画(2015-2016)への取り組みと重点施策

- | | |
|-----------------|----|
| 1. 中期経営計画への取り組み | 12 |
| 2. 通期業績予想・環境認識 | 15 |
| 3. 2015年度下期重点施策 | 17 |

第1部
2015年12月期(2015年度)上期
業績の概要

- 売上高は、縫製機器事業におけるアジアの新興国市場での売上が前年に引き続き堅調であったことに加え、円安基調で推移したことなどから、前年同期比13%の増収
- 売上高が増加したことや事業領域が拡大したことなどにより、営業・経常・当期純利益とも増益
- 中間配当2円/株を実施

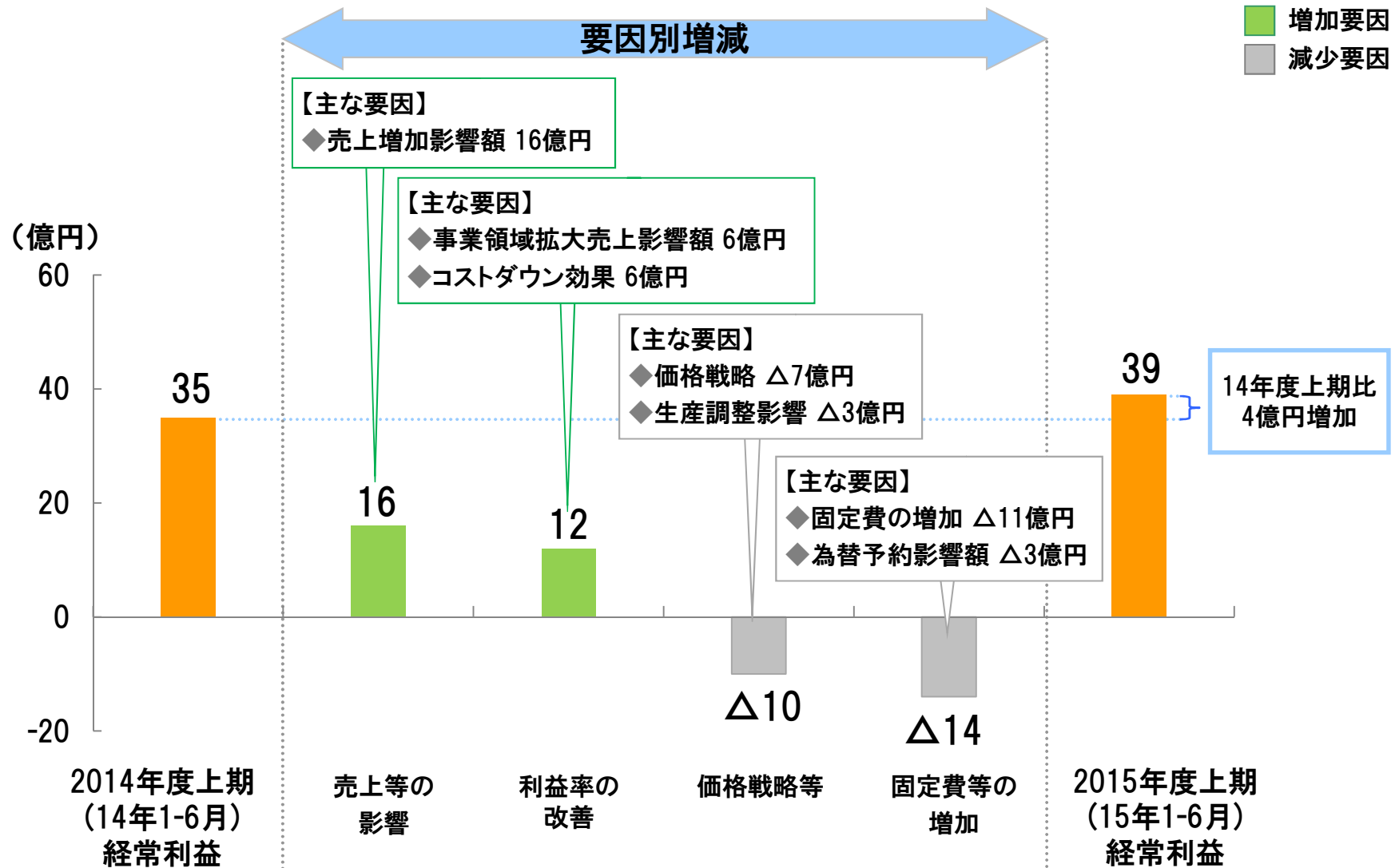
(百万円)

	14/12期 (14年度)						15/12期 (15年度)			前年同期比 増減額 〈B-A〉 (増減率)
	上期			下期			上期			
	1Q	2Q	上期〈A〉	3Q	4Q	下期	1Q	2Q	上期〈B〉	
	14年1-3月	14年4-6月	14年1-6月	14年7-9月	14年10-12月	14年7-12月	15年1-3月	15年4-6月	15年1-6月	
売上高	25,201	25,533	50,734	26,016	30,831	56,847	28,136	29,233	57,369	6,635 (13.1%)
営業利益	1,867 [7.4%]	1,814 [7.1%]	3,681 [7.3%]	2,168 [8.3%]	2,368 [7.7%]	4,536 [8.0%]	1,793 [6.4%]	2,434 [8.3%]	4,227 [7.4%]	545 (14.8%)
経常利益	1,734 [6.9%]	1,775 [7.0%]	3,509 [6.9%]	1,860 [7.1%]	2,341 [7.6%]	4,201 [7.4%]	1,544 [5.5%]	2,399 [8.2%]	3,943 [6.9%]	433 (12.3%)
当期純利益	1,113 [4.4%]	1,455 [5.7%]	2,568 [5.1%]	1,646 [6.3%]	1,844 [6.0%]	3,490 [6.1%]	1,019 [3.6%]	1,700 [5.8%]	2,719 [4.7%]	150 (5.9%)
配当	—	—	〈中間配当〉 0円/株	—	—	〈期末配当〉 4円/株	—	—	〈中間配当〉 2円/株	+2円/株
為替 レート	ドル 103円 ユーロ 141円	ドル 102円 ユーロ 140円	ドル 103円 ユーロ 141円	ドル 105円 ユーロ 138円	ドル 116円 ユーロ 144円	ドル 111円 ユーロ 141円	ドル 119円 ユーロ 136円	ドル 121円 ユーロ 135円	ドル 120円 ユーロ 136円	ドル 17円 ユーロ △5円

* 為替レートは営業利益に影響する期中平均レート

* []は売上高利益率

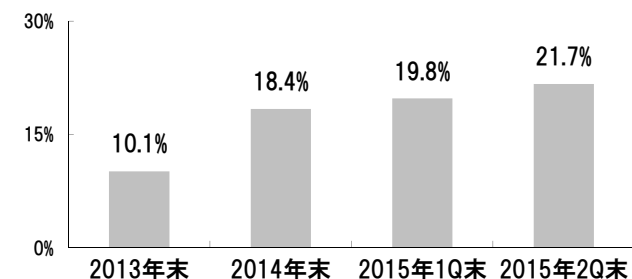
価格戦略、固定費等の増加があったが、売上等の影響、利益率の改善により、前年同期比増益



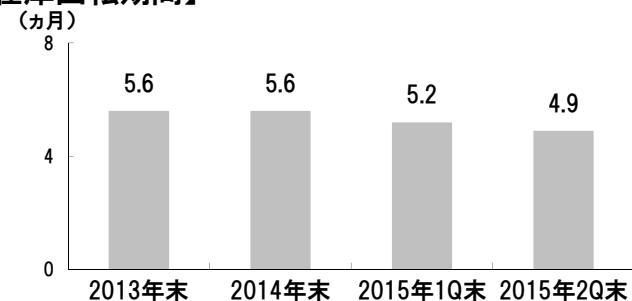
- 自己資本比率は、利益剰余金の増加(32億円)等により、21.7%に上昇
- 在庫回転期間は、物流の見直しや生産リードタイム短縮による在庫削減により、4.9ヵ月に低下
- 有利子負債は、20億円減少

	14/12期末 (14年12月末) 〈A〉	15/12期 2Q末 (15年6月末) 〈B〉	増減額 〈B-A〉	
総資産	130,751	127,524	△3,226	
純資産 [利益剰余金]	25,010 [3,754]	28,729 [6,964]	3,719 [3,210]	
純資産比率	19.1%	22.5%	3.4%	
自己資本比率	18.4%	21.7%	3.3%	
売上債権	31,275	31,744	468	
在庫 [在庫回転期間]	50,248 [5.6ヵ月]	47,129 [4.9ヵ月]	△3,118 [△0.7ヵ月]	
仕入債務	13,892	11,475	△2,416	
有利子負債	74,748	72,714	△2,035	
現預金	9,491	9,868	377	
為替レート (期末)	ドル	120円	122円	2円

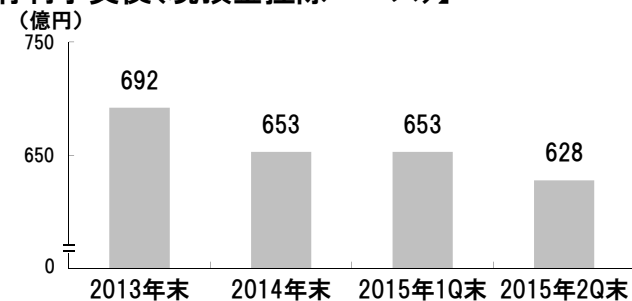
【自己資本比率】



【在庫回転期間】



【有利子負債(現預金控除ベース)】



縫製機器は、アパレル縫製産業において、ベトナム・バングラデシュを中心としたアジア新興国地域や中南米・アフリカなどでの売上が拡大したこと、商品別では自動車シート・スポーツシューズなどのノンアパレル向けやニット製品向けの売上が増加したことなどから、15.5%の増収

産業装置は、最大の市場である中国での売上は伸び悩んだものの欧米での売上が拡大したこと、商品別では新製品のマウンタや仕入商品の売上が増加してきていることなどから、13.3%の増収

(百万円)

	14/12期 (14年度)						15/12期 (15年度)			前年同期比 増減額 <B-A> (増減率)
	上期			下期			上期			
	1Q	2Q	上期<A>	3Q	4Q	下期	1Q	2Q	上期	
	14年1-3月	14年4-6月	14年1-6月	14年7-9月	14年10-12月	14年7-12月	15年1-3月	15年4-6月	15年1-6月	
縫製機器	18,657	18,494	37,151	18,482	22,358	40,839	21,223	21,681	42,904	5,753 (15.5%)
産業装置	4,792	5,269	10,061	5,739	6,632	12,371	5,367	6,036	11,403	1,342 (13.3%)
その他	1,751	1,770	3,521	1,794	1,842	3,636	1,545	1,516	3,061	△460 (△13.1%)
合計	25,201	25,533	50,734	26,016	30,831	56,847	28,136	29,233	57,369	6,635 (13.1%)

- 縫製機器は、コストダウン効果及び採算性の良いノンアパレル、自動機などの売上が増加し増益
- 産業装置は、ソニーとの事業統合による新製品の本格販売に向けて、開発経費を先行投下

(百万円)

	14/12期 (14年度)						15/12期 (15年度)			前年同期比 増減額 <B-A> 〔利益率の 増減〕
	上期			下期			上期			
	1Q	2Q	上期<A>	3Q	4Q	下期	1Q	2Q	上期	
	14年1-3月	14年4-6月	14年1-6月	14年7-9月	14年10-12月	14年7-12月	15年1-3月	15年4-6月	15年1-6月	
縫製機器	1,735 [9.3%]	1,964 [10.6%]	3,699 [10.0%]	1,961 [10.6%]	1,646 [7.4%]	3,607 [8.8%]	1,925 [9.1%]	2,504 [11.5%]	4,429 [10.3%]	730 [0.3%]
産業装置	68 [1.4%]	△230 [△4.4%]	△162 [△1.6%]	39 [0.7%]	194 [2.9%]	233 [1.9%]	△134 [△2.5%]	△80 [△1.3%]	△214 [△1.9%]	△52 [△0.3%]
その他	49 [2.8%]	119 [6.7%]	168 [4.8%]	80 [4.5%]	75 [4.1%]	155 [4.3%]	70 [4.5%]	14 [0.9%]	84 [2.7%]	△84 [△2.1%]
調整額	△119	△76	△195	△220	424	204	△316	△40	△356	△161
合計	1,734 [6.9%]	1,775 [7.0%]	3,509 [6.9%]	1,860 [7.1%]	2,341 [7.6%]	4,201 [7.4%]	1,544 [5.5%]	2,399 [8.2%]	3,943 [6.9%]	433 [±0%]

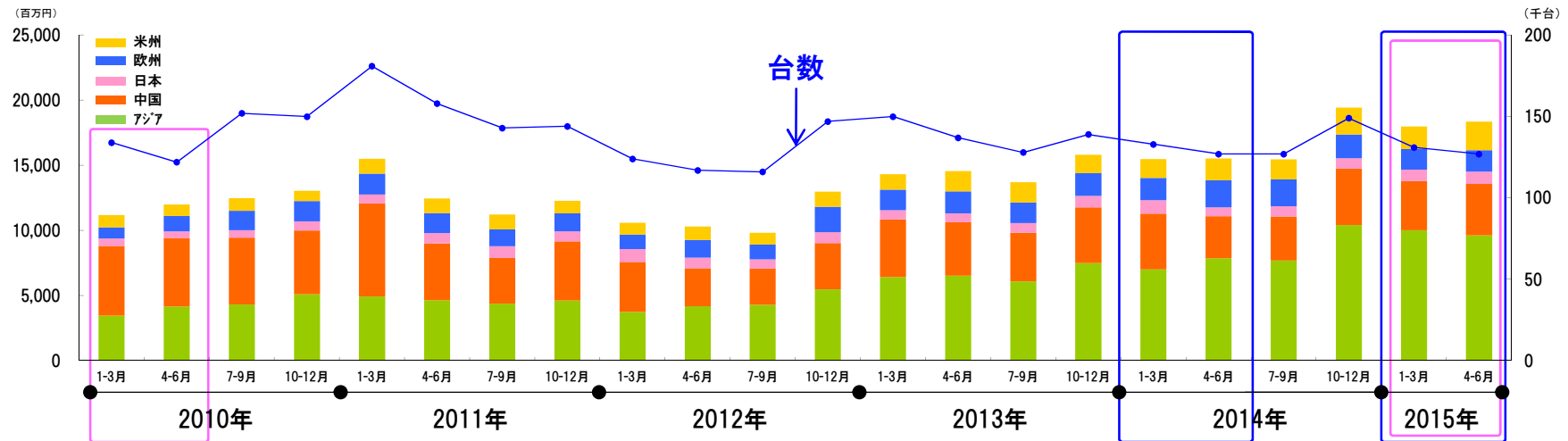
〔 〕は売上高経常利益率

(参考①)

セグメント別業績 地域別売上高(縫製機器:工業用マシン)

アジア新興国地域での販売が好調で、売上高比率は54%に拡大
中国のウエイトは低下

【縫製機器:工業用マシン製品の地域別売上高推移】



【売上高:前年同期比較】

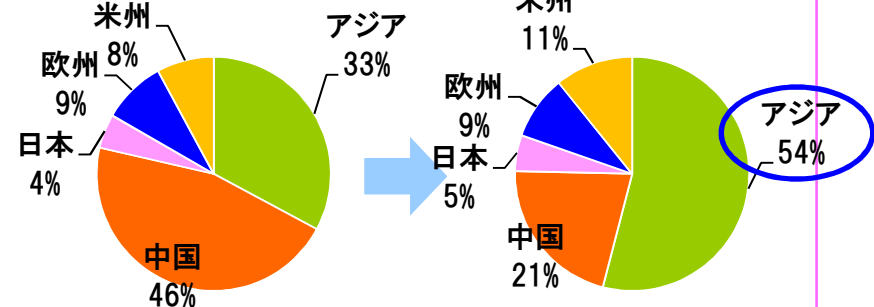
(億円)

	2014年 (1-6月)	2015年 (1-6月)	増減額	増減率
アジア	149	196	47	31.5%
中国	75	78	3	4.0%
日本	17	18	1	5.9%
欧州	38	32	△6	△15.8%
米州	31	39	8	25.8%
合計	310	363	53	17.1%

【売上高構成比率:2010年1-6月との比較】

2010年(1-6月)

2015年(1-6月)



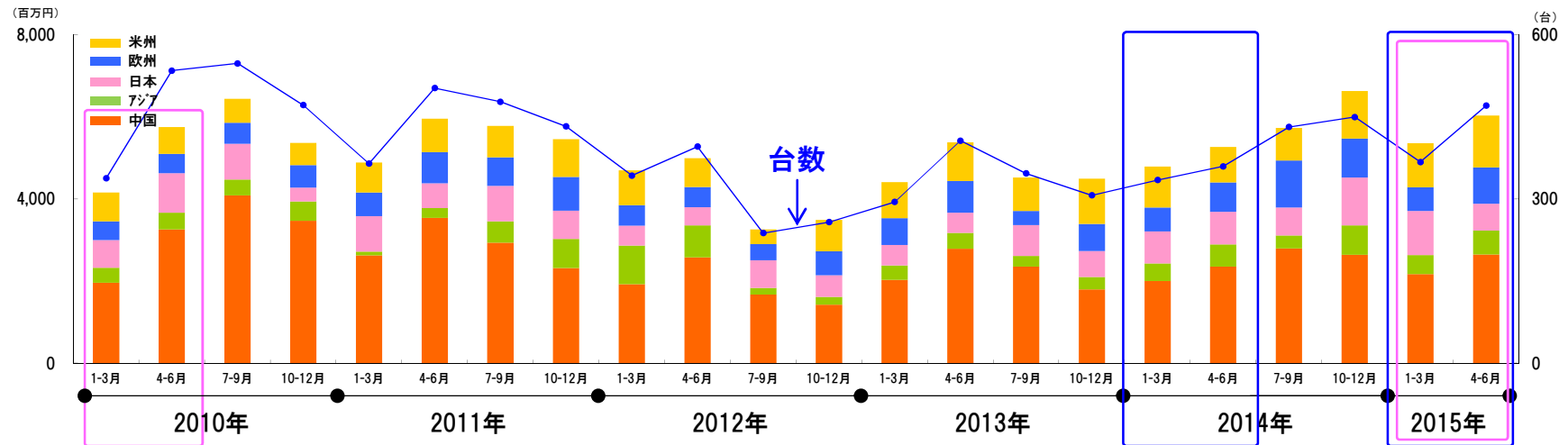
(注)月次の工業用マシン製品の販売数字を集計したものであり決算数字とは合致しない

(参考②)

セグメント別業績 地域別売上高(産業装置)

中国は伸び悩んだものの、欧米での売上が増加

【産業装置：地域別売上高推移】



【売上高：前年同期比較】

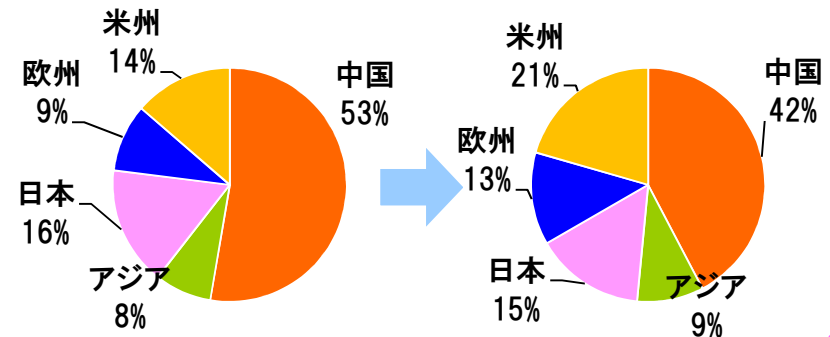
(億円)

	2014年 (1-6月)	2015年 (1-6月)	増減額	増減率
中国	44	48	4	9.1%
アジア	10	11	1	10.0%
日本	16	17	1	6.3%
欧州	13	15	2	15.4%
米州	18	23	5	27.8%
合計	101	114	13	13.3%

【売上高構成比率：2010年1-6月との比較】

2010年(1-6月)

2015年(1-6月)



(注)月次の販売数字を集計したものであり決算数字とは合致しない

株式併合と単元株式数の変更

目的

全国証券取引所：「売買単位の集約に向けた行動計画」を公表

- 全ての国内上場会社の普通株式の売買単位を100株に統一
- 投資単位の水準は、5万円以上50万円未満が望ましい

株式併合と単元株式数の変更を実施

株式併合

普通株式:5株を1株に併合

単元株式数の変更

1,000株→100株

※効力発生日:2015年7月1日

発行済株式総数

149,370,899株

5分の1

29,874,179株



第2部
**中期経営計画(2015-2016)への
取り組みと重点施策**

ビジョンと基本方針

全社
ビジョン

21世紀を生き抜くグローバルなものづくり企業

～イノベーティブ(革新的)で活気のある社員が力を合わせ、
変化に対応し強い事業を創り出していく企業～

基本方針 ①

持続的に収益を上げる
ことが出来る
事業構造の構築

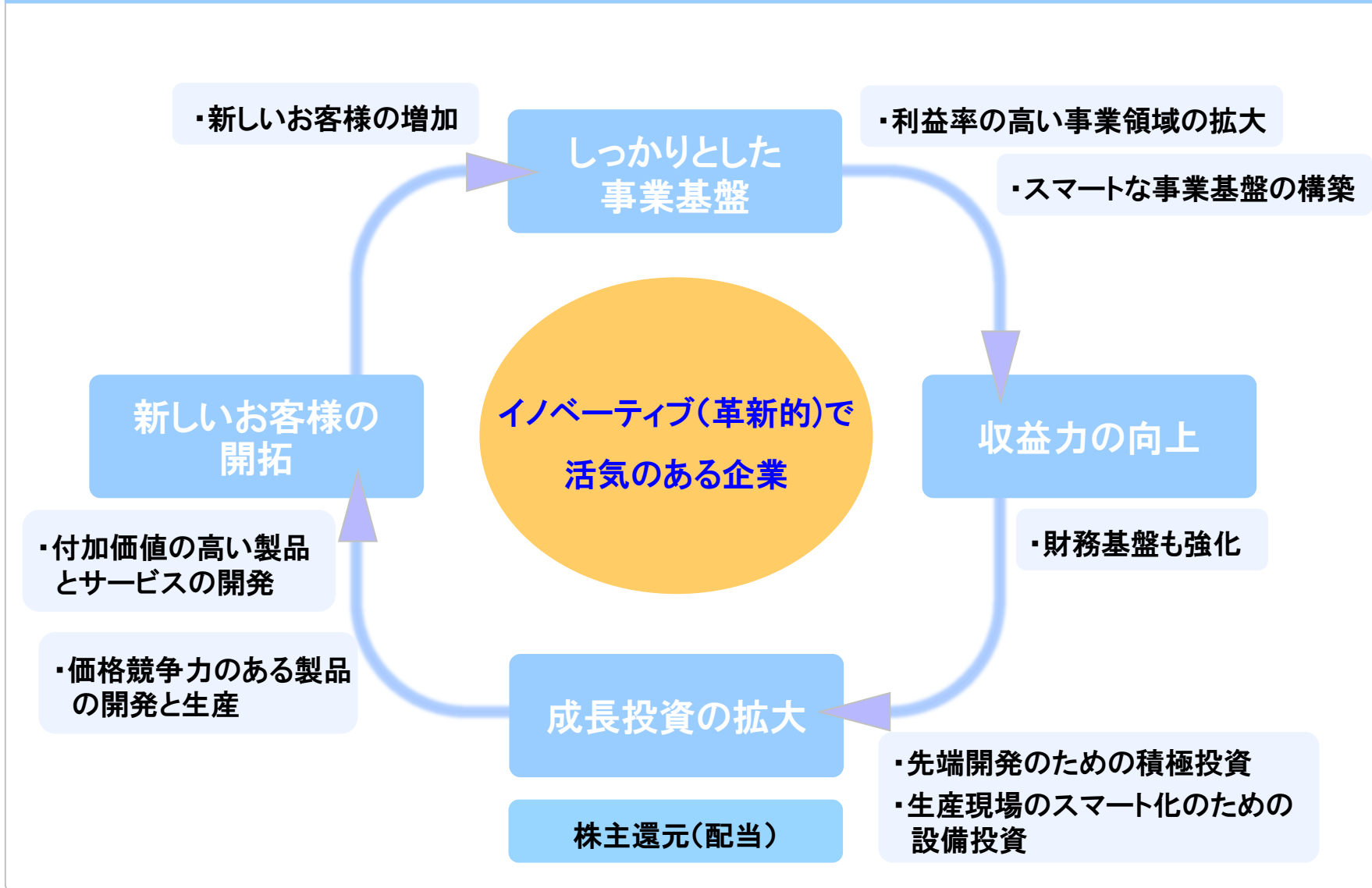
基本方針 ②

戦略実行を実現する
専門性があり逞しい
人材の育成

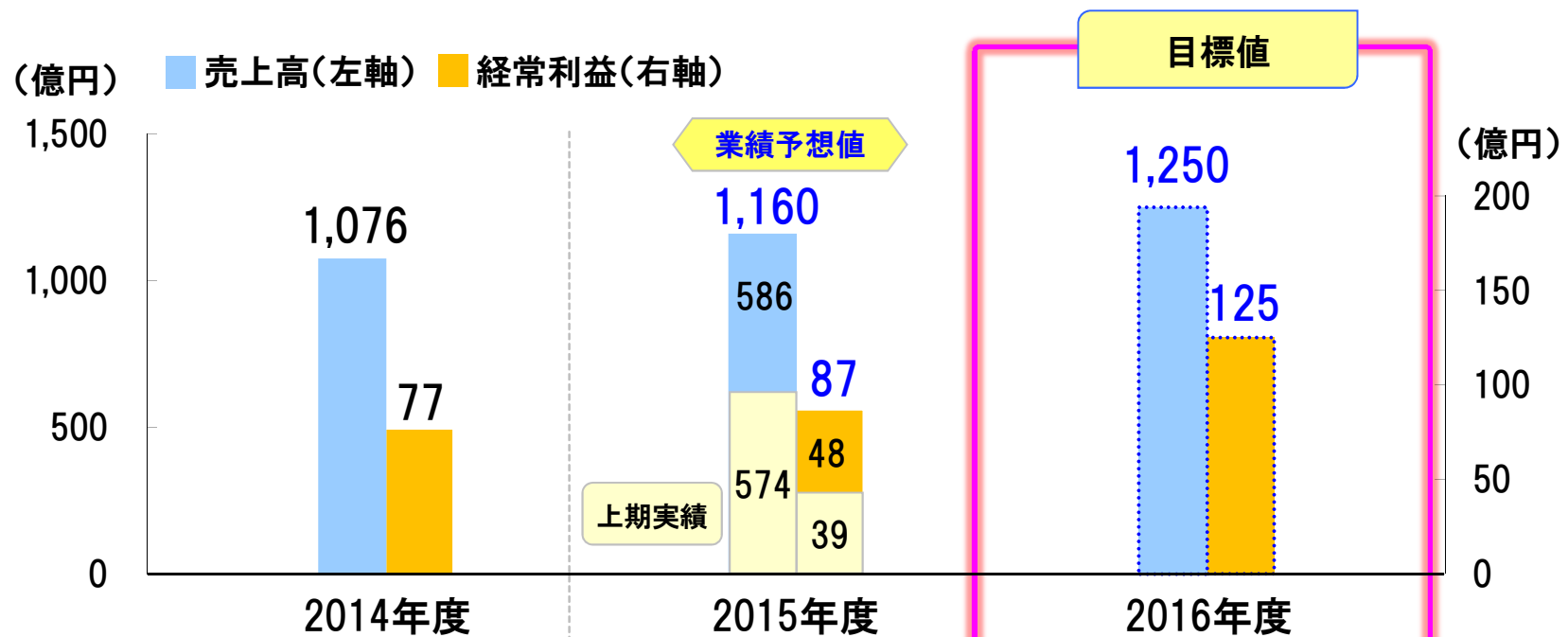
基本方針 ③

スマートな事業基盤の
構築

JUKIの成長サイクル



中期経営計画の取り組み状況



経常利益率 7.2%
 自己資本比率 18.4%
 ネットD/Eレシオ 2.7倍

通期見通し

7.5%	収益力の向上	10%
24%	→	30%
1.9倍	財務基盤の強化	1.2倍

* 中計の為替レート: 1ドル=110円

2-2-1

2015年12月期(2015年度)通期業績予想



	2015年度通期 業績予想 [2月12日公表]	2014年度通期 実績	(億円) 増加額	[参考] 2015年度上期 (1-6月)実績	(億円) 2015年度下期 (7-12月)予想
売上高	1,160	1,076	84	574	586
営業利益	95	82	13	42	53
経常利益	87	77	10	39	48
当期純利益	66	61	5	27	39
				為替レート(ドル)	110円
配当	2015年度 年間配当予想	2014年度 年間配当	増加額	2015年度 中間配当	2015年度 期末配当予想
株式併合を 考慮しない場合	7円/株	4円/株	3円/株	2円/株	5円/株
株式併合を 考慮した場合	35円/株	20円/株	15円/株	10円/株	25円/株

世界経済と事業環境

世界経済

- ギリシャ不安、中国経済の減速リスクはあるものの、世界経済は総じて安定した局面
- グローバルの競争環境は一層厳しさを増している

業績を伸展できる好機は引き続き継続

事業環境

縫製工場

電子工場

「製造業のスマート化」が急速に進展

お客様は、「スマート&エコファクトリー(高い生産性と環境対応に優れた工場)」実現への動きを加速

アジア新興国でのニーズが顕著

工業用ミシンの製品別戦略、地域戦略

拡大事業領域での販売拡大

製品別
戦略

ノンアパレル

- 自動車⇒特注ニーズへの対応
- スポーツシューズ
- その他(カバン、家具市場等)

ニット

- ラインソリューションによる販売拡大
- 中南米の販売拡大

自動機

- 大手ユーザーの特注対応機種を水平展開

パーツ

- アジアでのストックポイントの拡大

地域戦略

- 産地移動への的確な対応
⇒東南アジア、南アジアでの販売拡大
- “新たな新興国”での販売拡大
⇒中近東、アフリカ、中南米の販売網を整備

ラインソリューション提案の拡大と新製品群

ミシンの
単体販売

ラインソリューション提案

お客様の省力化、自動化ニーズに対応した
スマートソリューション提案

自動機など生産性の高い工業用ミシンを
使用することにより、生産性が大幅向上

中国、ベトナム、インド、インドネシアなどの大手ユーザー
へのニーズ対応力を強化

新製品群



LU-2800シリーズ



LK-1903BB



LBH-1790Aシリーズ



DDL-900A

家庭用ミシンの製品別戦略、地域戦略

キルト分野のヘビーユーザーへの販売強化と新製品投入

製品別 戦略

家庭用ミシン

- 新製品の投入により販売拡大
- キルトユーザー向け家庭用ミシンを市場投入
- 手芸量販店、路面店等での販売強化

小型ロック

- 新製品の投入により販売拡大
- キルトユーザー向けロックミシンを市場投入

職業用・キルト

- キルトミシンQVPをシリーズ化し、ヘビーユーザーへの販売拡大

地域戦略

- 先進国(日、米、欧)で、家庭用ミシン、キルトミシンなど高付加価値製品を中心に販売拡大
- 新興国の販売網を整備

2-3-2-2

2015年度下期 重点施策(縫製機器:家庭用ミシン)

新製品群

家庭用キルト専用ロングアームミシン
TL-2200QVP



フレームタイプ(立ちタイプ)



テーブルタイプ(座りタイプ)



Gシリーズ(バックライト仕様)
HZL-G220/G120



下期はさらに10シリーズを市場投入予定

産業装置の製品別戦略

製品別
戦略

拡大事業領域での販売拡大

Rシリーズ
(新製品)

- 新製品群(RX-7(高速機)、RX-6(汎用機)、印刷機、検査機)の販売拡大

省力化設備

- 販売網の拡充およびパートナー増強等により販売拡大

仕入商品

- ストレージシステム(ISMシリーズ)の販売拡大

LED

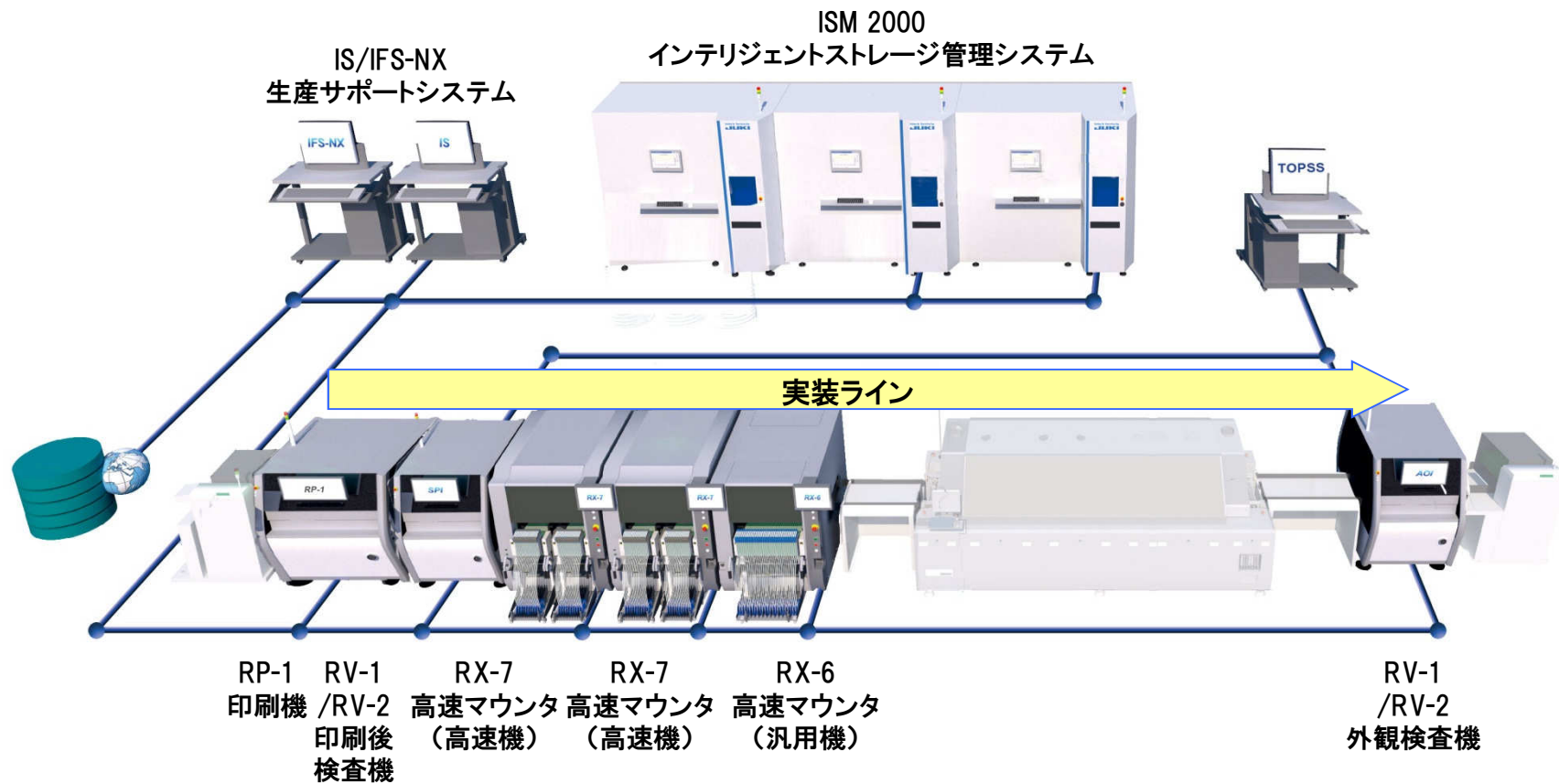
- JX-350(新製品)による販売拡大

パーツ

- パーツ供給ルート効率化

ラインソリューション提案の拡大

ラインソリューション提案例(標準ライン)



仕入商品も含めたラインソリューション提案により、新規顧客の開拓を強化

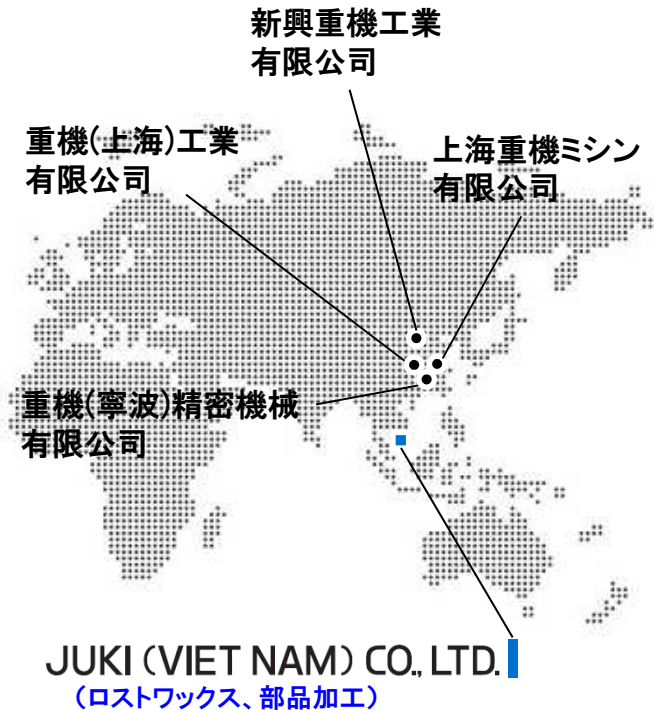
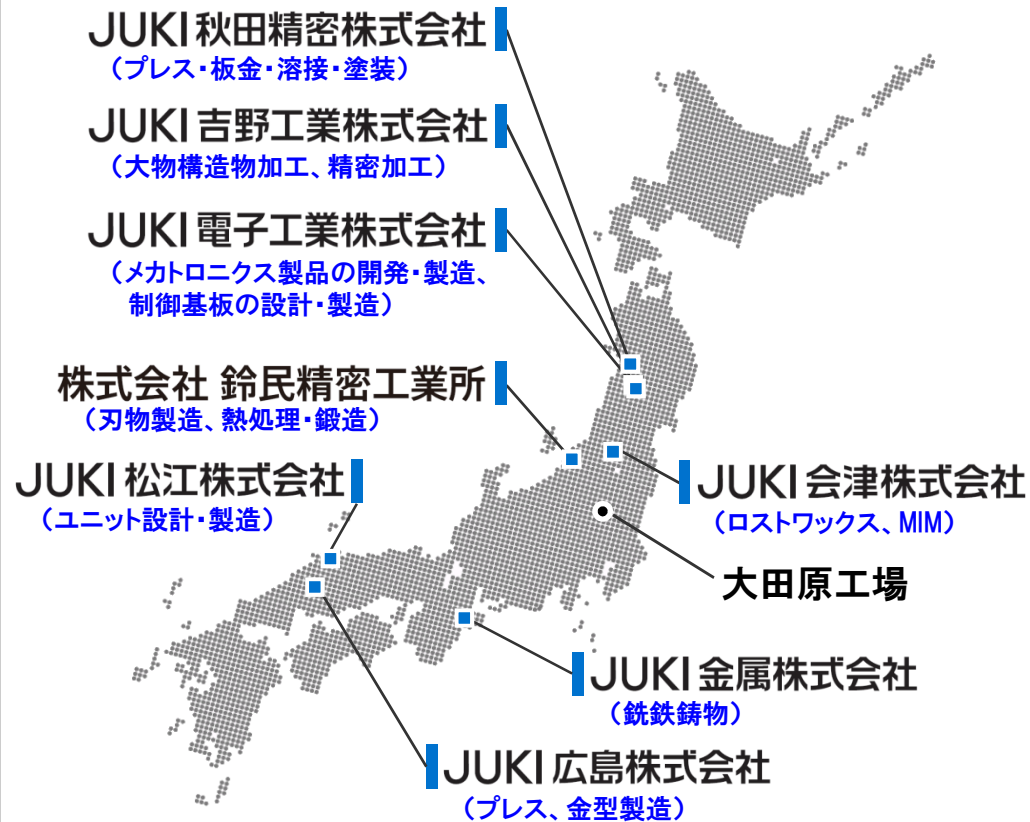
グループ事業の受託事業と重点分野



国内外の製造グループ会社

第三の事業セグメントとして、国内外製造グループ会社の受託加工事業を拡大

グループ事業関連の製造グループ会社(国内8社、海外1社)



本資料における業績予想及び将来の予想等に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実な要素を含んでおります。従いまして、実際の業績等が様々な要因により異なる可能性がありますことをご了承ください。

JUKI株式会社

お問合せ先： 総務部 総務・広報グループ 担当：寒川^{そう がわ}

TEL :042-357-2398 FAX :042-357-2399

ホームページURL： <http://www.juki.co.jp/>